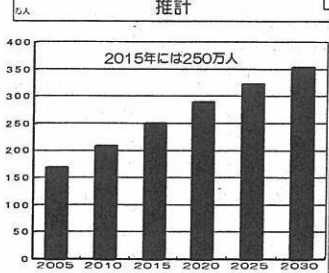


高齢者の増加と認知症患者

介護領域からの推計

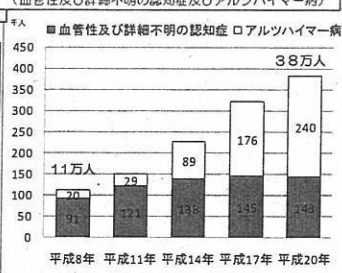
自立度Ⅱ(*)以上の認知症患者数の推計



※自立度Ⅱ：日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難が多少見られるも、誰かが注意すれば自立できる。
認知症患者数の推定根拠：厚生労働省老健局「2015年の高齢者介護」（平成14年9月末についての推計）、認知症患者の年次推移：患者調査

医療領域での推移

認知症患者数の年次推移
(血管性及び詳細不明の認知症及びアルツハイマー病)



平成14年9月末についての推計に基づく、平成17年の推計値
厚生労働省老健局「2015年の高齢者介護」

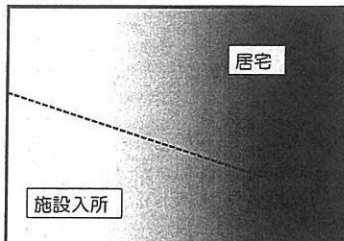
認知症患者の所在

介護

自立度Ⅱ以上の認知症高齢者
169万人

医療

血管性認知症及び詳細不明の認知症
アルツハイマー病
38万人

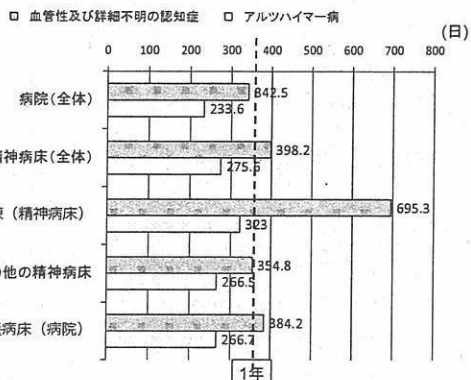


平成14年9月末についての推計に基づく、平成17年の推計値
厚生労働省老健局「2015年の高齢者介護」



平成20年患者調査

病床種類別の認知症入院患者の平均在院日数

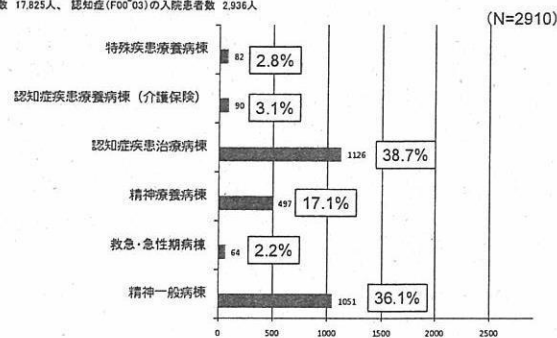


資料：平成17年患者調査

平成17年9月中に退院した患者の平均在院日数

精神病床の認知症入院患者(病棟種類別)

「精神病床の利用状況に関する調査」
(平成19年度厚労研「精神医療の質的実態把握と最適化に関する総合研究」分担研究)
調査対象：全国の精神病床を保有する病院 1,542病院中 997病院が回答。
12月の入院患者のうち10%を無作為抽出した調査にて、
回答数 17,825人、認知症(F00'03)の入院患者数 2,936人

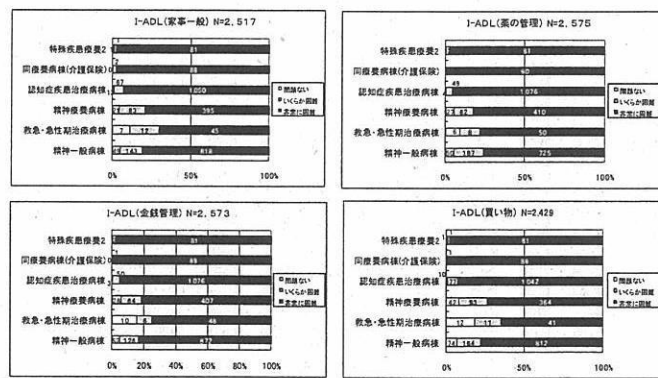


精神病床の認知症入院患者のADL



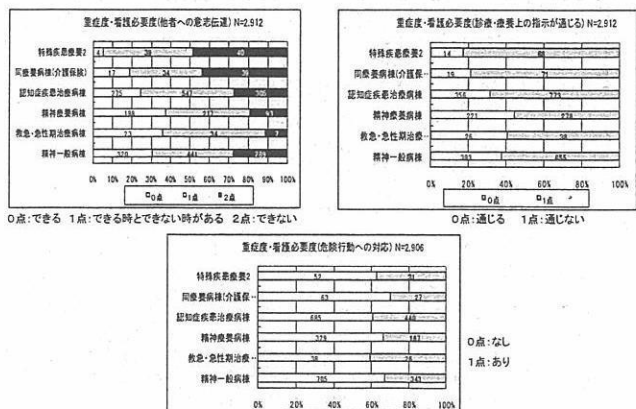
「精神病床の利用状況に関する調査」より(平成19年度厚労研「精神医療の質的実態把握と最適化に関する総合研究」分担研究)

精神病床の認知症入院患者のI-ADL



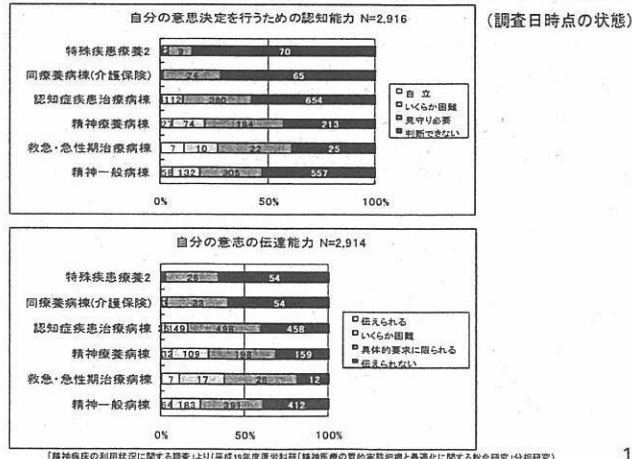
「精神病床の利用状況に関する調査」より(平成19年度厚労研「精神医療の質的実態把握と最適化に関する総合研究」分担研究)

精神病床の認知症入院患者の重症度・看護必要度



「精神病床の利用状況に関する調査」より(平成19年度厚労研「精神医療の質的実態把握と最適化に関する総合研究」分担研究)

精神病床の認知症入院患者の認知能力・伝達能力



「精神病床の利用状況に関する調査」より(平成19年度厚労研「精神医療の質的実態把握と最適化に関する総合研究」分担研究)

